

予期せぬ事態に備えて

電源喪失時でも 映像と音声で 遠隔支援が可能



必要ツールを 堅牢なケースに 1パッケージ化



非対面・非接触の遠隔支援で感染リスクの低減を

新型コロナウイルス感染拡大はもちろん、地震や大型台風、豪雨などの 自然災害によって、欠勤者の急増や、中長距離の移動が 困難になってしまうリスクが常にあります。

遠隔支援カメラシステムは現場にいる方の視線映像を4G回線を通じて 遠隔の指示者のパソコンに表示させ、双方向の会話で現場状況の掌握を 行なうことができます。BCPパッケージには、ウェアラブルカメラ、通信機に 加えLEDライトや予備充電器などが専用アタッシュケースに収納され より一層パフォーマンスを発揮できるシステムです。



専用アタッシュケースに緊急時必要なツールを収納



※内容等は性能向上のため、予告なく変更する場合があります。

●パッケージ内容

- ・ウェアラブルカメラ
- ・ターゲットポインタ: 撮りたい被写体にピタリと照準が合います。
- ・ヘッドマウント: カメラやポインタを頭部に装着できます。
- · Android端末(専用通信機)
- ・ヘルメット装着クリップ: カメラをクリップでヘルメットの庇に装着できます。
- ・ミニ三脚(変換アダプター付): 定点カメラとして使用できます。
- ・ACアダプター:
- 端末、予備バッテリーの充電に使用します。 ・ヘッドバンド型LEDライト:
- 暗所で使用する際、頭部に装着します。
- ・ペン型LEDライト: ターゲットポインタの代わりにセットし、暗所で使用。
- 予備モバイルバッテリー
- ・Bluetoothイヤホンマイク

【未曾有のリスクに備えるためのBCP】

Business Continuity Planning

2019年から続く新型コロナウイルス感染拡大は、複数の拡大の波を繰り返し、2022年現在でも社会経済活動が制限 される状況が続いています。感染対策としてリモートワークの実施はこの2年で一気に広まりました。 さらに、オミクロン株の感染拡大によって、大量の欠勤者が生じ、通常の社会経済活動が維持できないケースが多数 出現しています。

こうした事態は感染症拡大だけではなく、自然災害発生時などでも起きるリスクです。

「BCPパッケージ」は緊急時だけでなく、日常の事業活動における感染リスク低減やリモート ワーク推進、業務効率化、人材育成等にも効果を発揮します。 イザという時のため、日頃からの活用をおすすめします。

緊急事態に期待される活用方法

①災害発生時での被害状況確認

停電時でも4G回線が利用により、リアルタイムで被害状況を遠隔地の管理監督者が確認する ことが可能です。

②平常操業の代替手段として

現場に訪問しなければ指示などが困難な場合でも、リモートアシストによって平常操業と同等のパフォーマンスの維持ができます。

③平常操業のための復旧作業時

遠隔地で技術者などが現場に指示を出すことが可能です。

自治体、公共施設等でも常設を

地震や集中豪雨による被災、避難に備え自治体や公共施設での緊急連絡システムとしてもおすすめです。



●役所·役場



●各地防災拠点



●小中学校



●公民館·自治会館



●体育館

●そのほかにも・・・・

- ・過疎地の診療所
- ·幼稚園/保育園
- ·介護施設
- ・首長のお宅 など



リモートアシストBCPパッケージ 250,000円 (税別)

- ■1年間のシステム利用料・4G回線データ通信料を含む。
- ■2年目以降はシステム利用料・4G回線データ通信料として87,600円/年(税別)が必要です。

株式会社リモートアシスト

本社:大阪府茨木市彩都やまぶき2-2-C1207 大阪オフィス:大阪市住之江区南港北2-1-10

ATCビルITM棟6F

TEL: 090-1070-8266 https://remote-assist.jp/

